

1 年歴史ワークシート「武士の台頭と鎌倉幕府」《元寇》

●学習課題 () 号 氏名 ()

弘安の役の後、元の使節が国書を持ってやってきた。あなたが執権ならどう対応しますか？

激しい戦いだった弘安の役で、元軍は九州の御家人の頑張りや石塁の効果、暴風雨などにより壊滅的な敗北を喫した。その弘安の役の後、元の使節が皇帝の国書を持って再び日本にやって来ました。幕府の執権であるあなたは、①国書を受け入れて使節を元に送り、交流を始める、②国書を拒否し、元軍を迎え撃つ準備をする、のどちらかを選ぶことになりました。

1 上の①、②の対応をした場合、日本（鎌倉幕府）にどのようなメリットとデメリットがあるのかを整理してみたいと思います。じっくり考えて下の表の中にメリットとデメリットを書いてください。

(あとで、友達の見解もここに書き加えてください。)

執権（幕府）の対応	日本のメリット（よい点）	日本のデメリット（問題点）
○国書を受け入れて、使節を元に送る。		
○使節の国書を拒否して、元軍を迎え撃つ（戦争）準備をする。		

2 【資料 1】、【資料 2】の内容とメリット・デメリットの表を参考に、最終的な自分の意思を決定しよう。
【意思決定】

●私が執権なら、

(①国書を受け入れて使節を送り、交流を始める ・ ②国書を拒否して迎え撃つ準備をする)
その理由は、以下の通りです。

--

3 班員の意見をメモしよう。(メモできていない人には、いつものようにまわりが応援をしてください)

班員の名前	対応番号	理由をメモしよう

5 班の話し合いのあと、鎌倉幕府の執権は、①(国書を受け入れて、使節を派遣する)と、
②(国書を拒否して、迎え討つ準備をする)のどちらの対応をしたと思いますか。【意思決定】

①か②で書きなさい。

--

●理由

--

6 次の課題に対して、あなたはどう思いますか。思ったことを書いてください。

☆次時の討論のテーマ

--

●自分の考え (正しかった ・ 正しくなかった)